

帝人株式会社 ■ コーポレートコミュニケーション部

- 東京本社 〒100-8585 東京都千代田区霞が関3丁目2番1号 霞が関コモンゲート西館 TEL.03-3506-4055 FAX.03-3506-4150
- 大阪本社 〒530-8605 大阪府北区中之島3丁目2番4号 中之島フェスティバルタワーウエスト TEL.06-6233-3413 FAX.06-6233-5040
- URL <https://www.teijin.co.jp>

2020年12月 1日

高機能繊維と木材とのハイブリッド素材 「LIVELY WOOD」ブランドでの展開開始

帝人株式会社

帝人株式会社（本社：大阪市北区、社長：鈴木 純）は、2015年から高機能繊維を用いた複合材料集成材をAFRW（Advanced Fiber Reinforced Wood）として展開してきましたが、このたび、新たに「LIVELY WOOD」ブランドとして展開していくこととしました。

「LIVELY WOOD」は、ブランド名に「空間に美しさを 人に活力を」という意味を込め、日本伝統の建築技術である組み木と、活力の象徴である太陽を織り交ぜてロゴを表現しています。

剛性が木材の2倍以上で、建築材の梁に使用すると設計の自由度が向上することから、幅広い用途への活用が期待される「LIVELY WOOD」は、これまで木材を採用できなかった建築物への使用を推進するとともに、梁や柱のない広いオープンスペースの実現により、人々の生活により快適性の高い空間を提供していきます。



「LIVELY WOOD」



そして、「LIVELY WOOD」ブランドとしての展開の第一弾として、このたび、JR名古屋駅の南側に位置する、新幹線の高架下の空間を利用して建設される「笹島高架下オフィス」に採用されることになりました。「LIVELY WOOD」が、社外の建築施設に採用されるのは初めてのことです。

「笹島高架下オフィス」は、新幹線の高架下に建設される地上2階建てのオフィスです。高架下の地中には高架の基礎(*1)や電線などが埋設されていることから、高架下の建築物には基礎を構築するためのスペースに限りがあり、軽量鉄骨材を使用した平屋建てというのが主流となっています。こうした中、利用に限定がある高架下の有効活用を目的に、当社と名古屋ステーション開発株式会社が進めているのが「笹島高架下オフィス」のプロジェクトで、建築設計事務所である有限会社 MARU。architecture が設計を担っています。

「笹島高架下オフィス」の建築には、炭素繊維と木材のハイブリッドである「LIVELY WOOD」の特徴が活かされています。柱の間隔は6mを超え、3mを超えるオーバーハング(*2)を用いたダイナミックな空間と、従来の木造建築物と同等の軽量性による簡易的な基礎の両立を実現しています。

また、建築に使用する「LIVELY WOOD」の木材には、愛知県産のスギを使用する予定です。スギを建築物の構造材に使用する場合、断面を大きくする必要や、長いスパンが取れないなどの制約があり、さらに今回は、鉄道高架下での建築ということで高さや施工条件に制限がありますが、スギを補強して剛性を高めた「LIVELY WOOD」は、それらを解消することができ、地産地消にもつながります。

(*1) 基礎： 建造物の柱や梁などから伝わる荷重を地盤に伝え、支持するための下部構造体。

(*2) オーバーハング： 床梁が桁をまたいで突き出している建築構造で、上の階が下の階よりも張り出したものなど、突き出した床梁の下に柱がないもの。



「笹島高架下オフィス」の外観イメージ

帝人は、グランピング施設や、世間で注目を集めているワーケーション施設、中低層のオフィスビルなど、多岐にわたる建築物に向けて「LIVELY WOOD」の採用を推進しています。このたびの採用を契機として、「LIVELY WOOD」のさらなる普及を図り、長期ビジョンである「未来の社会を支える会社」を目指していきます。

以上

【 当件に関するお問合せ先 】

帝人株式会社 コーポレートコミュニケーション部 TEL: (03) 3506-4055